



出席者で記念撮影

広島県鉄構会・青年部会が総会

「望ましい業界作りの第一歩」

相互の親睦と連携強化へ

広島県鉄構工業会の青年部会(部会長＝遠藤健太・遠藤工業専務、会員数24人)は9日、広島市中区のRCC文化センターで通常総会を開催した。

議事では今年度を「未来の望ましい業界作りを目指す第一歩」と位置付け、相互の親睦と連携協力の強化や技術の研さん、親組合事業への参画などを重視する

方針のもと①組合HPやSNSを活用した情報発信②関連団体事業への参加と技術講習会③会勢拡大④全国鉄構工業協会 青年部会事業への協力——などの事業を承認。具体的には加工合理化への技術講習会や資材メーカーの見学研修、構造設計者との交流を実施する。

遠藤部会長は「事業への参加により会員間の横のつながりを強化したい。加えて、自身の成長にもつなげ

てほしい」と述べた。

また、役員人事で中島健介氏(三和鉄構建設取締役営業部部长)を新副会長に選出した。

●：6人が入会 このほか、川成亮太氏(西鉄工業専務)と川口司氏(トータルテックオグマ主任)、中島史弥氏(同主任)、大石亮氏(同主任)、宮本泰斗氏(宮森組)、榎谷本浩二氏(ひやもと鉄構建設専務)の入会を承認した。当日は川成氏と中島氏、榎谷本氏の3人が自己紹介

をした。川成氏は「業界に入って5年目だが、分からないことがたくさんあるので、ご教示してほしい」、中島氏は「業務について勉強中だが、力をつけて活躍したい」、榎谷本氏は「交流を通じてスキルアップし、部会の力になりたい」とそれぞれ述べた。



左から遠藤部会長、新会員の川成氏、中島氏、榎谷本氏